



室見川

むろ

み

がわ

福岡県福岡市の西部、早良区と西区との境を流れる室見川は、背振山系に源流をもち、いくつかの川の流れを集めながら、曲渕水源地堰から博多湾まで流れる全長約15kmの川です。福岡市民に飲み水を供給する大切な川であり、全域にわたって豊かな自然や生き物にふれることができる市内でも有数の河川です。上流にはダムや渓谷、滝などの雄大な自然があり、中流域では初夏にホタルを見ることができます。さらに、下流域は河川の両サイドに美しい河畔公園が整備され、ジョギングやサイクリング、水遊びなどを楽しめるほか、桜や紅葉の名所も点在し、おおぜいの人々が訪れています。



閉じる



次へ

室見川の生きものたち

河口付近には干潟があり、引き潮のときには姿を現します。この干潟は多くのわたり鳥が羽を休める場所にもなっていて、1年中生息してるものも含めて100種類以上の野鳥を観察できます。また、干潟では潮干狩りもでき、毎年2月から4月にかけては室見川の春の風物詩となっているシロウオがのぼってきます。

ユリカモメ

赤いくちばしに赤い足、背と羽根は淡い灰色で、腹のほうは白色をしている小型のカモメで、河口に近い下流域で群れをつくり、波に浮いている姿などを見ることができます。秋から初夏にかけてわたってくる冬鳥で、福岡市の鳥(海)にも選ばれています。伊勢物語(いせものがたり)など昔の人が書いたものに出てくる「ミヤコドリ」は、ユリカモメのことだといわれています。



矢倉橋付近



伊田橋付近

アオサギ

室見川の全域や近くの田んぼなどでじっとたたずんでいるのをよく見かけることができる、大型のサギです。全体的に灰色で、くちばしは黄色、足と首が長いのが特徴ですが、首はちぢめていることが多いようです。アオサギに限らず、サギ類は1年中見ることができ、橋のらんかんやボールの上などに止まっていることもあるので、比較的、見つけやすい野鳥だといえます。



大井手橋付近

多田羅渡橋付近



室見川橋付近



室見川筑肥橋付近



シロウオ

春の訪れを教えてくれる室見川のシロウオはハゼの仲間、成長しても体長は4~5cm、寿命は1年です。浅い海で群れて生活し、春になると産卵のために川を上り始めます。このシロウオをとるために川に「やな」という独特の仕掛けをします。この季節にはシロウオをねらってカモメなどたくさんの野鳥がやなの上にとまっています。



西部運動公園



丸隈橋付近

カワセミ

くちばしが長く、ブルーとオレンジ色の美しい小型の鳥。1年中見ることができ、留鳥で、「チーチー」と鋭い鳴声を出しながら、水面近くを直線的に飛んでいます。岸辺や草むらなどの枝にしばらく止まっていたかと思うと、すばやく水の中に飛び込んで魚をとらえます。オスとメスが同じような色をしているのも特徴です。



写真(室見川の野鳥)資料提供：國友 靖彦氏(福岡市在住)

室見川の春夏秋冬

資料：さわら魅力づくり推進委員会(早良区) 16年3月発行/わたしたちの川「室見川」より

人と自然が共存する室見川下流

	春	夏	秋	冬
魚	シロウオ、ヤマメ、ハヤ、コイ、フナ、ウナギ	アユ、ウナギ、ライギョ、メイト、ナマス、コイ	マハゼ、ボラ、カンバヤ、カンブナ、ウナギ	ウナギ、モズガニ、アカテガニ、コイ
昆虫	アゲハチョウ、テントウムシ、ハンミョウ	カラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハ、クワガタ、ウス/キトンボ	ベッコウトンボ、ベニツチカメムシ、ウス/キトンボ、コオロギ、クワガタ	
鳥	コジュケイ、キジバト、シジュウカラ、ヤマガラ、スズメ、コアジリシ、ホトトギス、ツバメ	コジュケイ、キジバト、シジュウカラ、ヤマガラ、スズメ、コリリ、コアジリシ、ホトトギス	コジュケイ、キジバト、シジュウカラ、ヤマガラ、スズメ、ハジロカイツブリ、ヒドリガモ	ミヤコドリ、ツクシガモ、ズグロカモメ、ミヤマガラス、ツリスガラ、コクマルガラス

下流域

水清らかな中流はホテルの里

	春	夏	秋	冬
魚	カワニナ、タイリクシマドジョウ、カワムツ	カワニナ、タイリクシマドジョウ、カワムツ	カワニナ、タイリクシマドジョウ、カワムツ	カワニナ、タイリクシマドジョウ、カワムツ
昆虫	ゲンジボタル、ヘイケボタル、ナナフシ	ゲンジボタル、ヘイケボタル、ナナフシ、クワガタムシ、カブトムシ	ウス/キトンボ、オニヤンマ	
鳥	コジュケイ、キジバト、シジュウカラ、ヤマガラ、コサギ、アマサギ、ツバメ	コジュケイ、キジバト、シジュウカラ、ヤマガラ、コサギ、アマサギ、ツバメ	コジュケイ、キジバト、シジュウカラ、ヤマガラ、コサギ、アマサギ、ツバメ、ヤブサメ	コジュケイ、キジバト、シジュウカラ、ヤマガラ、コサギ、アマサギ、タゲリ、ツグミ、アトリ

中流域

室見川の上流は自然の宝庫!

	春	夏	秋	冬
魚	サワガニ、シマトビケラ、タカハヤ	サワガニ、シマトビケラ、タカハヤ、カジカ	サワガニ、シマトビケラ、カジカ、ヤマメ	サワガニ、シマトビケラ、カジカ
昆虫	ナナフシ、ゲンジボタル、ヘイケボタル	カラスアゲハ、オニヤンマ、ナナフシ、ゲンジボタル、ヘイケボタル	オニヤンマ	
鳥	ホオジロ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、コガラ、アオガラ、ヒガラ	ホオジロ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、コガラ、アオガラ、ヒガラ	ホオジロ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、コガラ、アオガラ、ヒガラ	ホオジロ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、コガラ、アオガラ、キクイタダキ

上流域

室見川の生きものたち

閉じる

次へ



小雨の日でも
訪れる人は
多かったよ！

室見川河畔公園

ゆうゆうと流れる川の両サイドにどこまでも続くグリーンベルトが美しい室見川河畔公園。朝・夕などジョギングや散策をする人でいっぱい。さらに春の桜並木やツツジの花、シロウオ漁、夏の水遊びや冬の野鳥観察など季節毎にいろんな楽しみ方ができる自然あふれる公園で、市民の憩いの場となっています。



彼岸花などが公園内に植えられ、季節毎にいろいろな花を眺めることもできる、親子でスポーツなどを楽しめる公園です。

西部運動公園

田村大橋の近くにある広大な敷地の公園。ジョギングロードや陸上競技場、テニスコートや野球場を備え、子どもが遊べる遊具のある広場、さらには梅や桜、彼岸花などが公園内に植えられ、季節毎にいろいろな花を眺めることもできる、親子でスポーツなどを楽しめる公園です。



曲淵五重の塔

福岡県の文化財に指定されている五重の塔(高さ約2.8m)が曲淵小学校の敷地内に残されています。室町時代につくられたといわれ、肥後の国の落人である小国孫右衛門をとむらうために建立されたと伝えられています。



野河内溪谷

曲淵ダムに流れ込む八丁川の上流にあり、室見川の水源地域でもあります。深い緑に包まれ、清らかな水が流れる野河内溪谷には遊歩道があり、水遊びのできる涼やかな避暑地として夏などたくさんの人が訪れます。市内の中心部から車で30分ほどとは思えないほど、澄んだ空気と透き通った水、そして豊かな自然が残されています。

花乱の滝

国道263号線から1kmほど登った所にある花乱の滝。落差15mの高さから、花びらが舞うように流れ落ちる姿から、その名がつけられました。ただ、昔、ここで花乱という妖術使いの山伏が修行をしたという伝説も残っているそうです。



曲淵ダム・曲淵ダムパーク

室見川の上流域には福岡の水がめとなる曲淵ダムがあり、大きさは高さ45m・長さ161mで広さは福岡ドームの約2.7倍もあり、260万8000m³の水をたくわえることができます。このダムはいつでも見学できますし、そばにはダムパークが整備されていて散策や水遊びのほか、春には桜、秋には紅葉を楽しむことができます。



スピッツの「ロビンソン」の舞台であり、椎名林檎の「正しい街」にも歌われている室見川は、四季を通して、花見やピクニック、バードウォッチングや釣りなどをたっぷりと楽しめる川です。また、河口から曲淵ダムまで散策しながら野鳥や季節の花々を訪ねるのもいいものです。雄大な室見川を親子で楽しみに出かけてみませんか。

